



## 発着信コールの概要

- ・ [着信コールと発信コールについて, 1 ページ](#)
- ・ [着信コールと発信コールの設定, 1 ページ](#)

## 着信コールと発信コールについて

このパートでは、システムの発信コールと着信コールを設定する方法を説明します。

## 着信コールと発信コールの設定

次のタスク フローを実行すると、システムの着信コールと発信コールを設定できます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<a href="#">ゲートウェイの設定タスク フロー</a>	ゲートウェイをシステムに追加します。
ステップ 2	<a href="#">SIP の正規化および透明性設定のタスク フロー</a>	これはオプションです。相互運用性の問題を解決するために SIP トランクまたは SIP デバイスに割り当てられる、SIP 正規化と透明性スクリプトを設定します。
ステップ 3	<a href="#">SDP 透明性プロファイルの設定</a>	これはオプションです。SIP を導入するために Cisco Unified Communications Manager がネイティブで対応していない SDP 属性をサポートする必要がある場合は、サポートされていない属性を含む SDP 透明性プロファイルをセットアップします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	<a href="#">SIP プロファイルの概要</a>	SIP トランクおよび SIP デバイスの SIP プロファイルを設定します。
ステップ 5	<a href="#">デュアルスタック IPv6 設定のタスク フロー</a>	これはオプションです。SIP を導入するのに IPv6 デバイスをサポートする必要がある場合は、システムでデュアルスタック IPv6 サポートを設定します。デュアルスタックは SIP 導入用にのみ設定できます。
ステップ 6	<a href="#">SIP トランクの設定タスク フロー</a>	システムに SIP トランクを設定します。
ステップ 7	<a href="#">H.323 トランクの概要</a>	システムに H.323 トランクを設定します。
ステップ 8	<a href="#">Survivable Remote Site Telephony の設定タスク フロー</a>	SRST 用にシステムを設定します。